

令和7年度 第8回 旭地域会議 会議録

■日 時 令和7年1月13日（木） 午後7時00分～午後8時30分

■場 所 旭支所2階 第1会議室

■出席者

＜委員13名＞

板倉小夜子（会長）、稻垣雅子（副会長）、安藤孝之、伊藤和夫、伊藤圭一、大塚昌義、
鈴木雄也、富永英明、鳥居信宏、成瀬初恵、増田尚子、柳井清一郎、渡邊さとみ

＜事務局＞

杉本憲彦（支所長）、児嶋勇吾（副支所長）、岡本拓也（担当長）、山本悟（主査）、
平井一輝（主事）

＜傍聴人2名＞

-
- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 協議事項
 - (1) 提言に向けた協議
 - 4 連絡事項
 - 5 支所長あいさつ
 - 6 閉会

【内容】(要約)

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 提言に向けた協議

これまでの会議での協議のまとめ（資料 1）に基づき、3グループに分かれてグループディスカッションを実施。ディスカッションの意見をそれぞれ発表した。

〈主な意見〉

【森林グループ】

- ・旭中学校では間伐体験を行っている。こういうことを街の小中学生でも体験すればいいのではないか。
- ・間伐ボランティアの人達が、どうしてそのような活動に興味をもちはじめたのか、話を聞いてみたい。交流を深めるのはどうか。
- ・旭高原はもっと活用できることがあるのではないか。
- ・人と動物の棲み分け（ゾーニング）
- ・森林に対する人材の育成
- ・危険木の伐採の強化
- ・地元の木を使って家を建てる・家の修繕に対する補助金（地産地消）

【移住定住グループ】

- ・空き家バンクでのいきなりの購入はハードルが高い。お試しで住める場所があるといい
- ・空き家バンクの制度を住民に知ってもらう必要がある
- ・二段階移住（街中に住んでから山間部に移住する）
- ・若い人を呼び込むには、SNSで旭の良さをアピール
- ・ひとり身でも移住したい人を受け入れる（受け入れのための教育も）
- ・家賃の一部補助
- ・大家の家賃収入の税制負担補助
- ・外国人を受け入れるための体制作り

【商業グループ】

- ・地元商店をどうやって使ってもらうか⇒プレミアム商品券
- ・今まで外で買っていた人が地元で買うよう習慣化することを促進
- ・注文販売（高齢者の買い物支援+地元商店の売り上げ）
- ・多業種間の連携、配達網の整備
- ・小渡の商店が使いにくい⇒駐車場問題
- ・空き家で誰も使っていないところを解体して駐車場に
- ・商工会などの団体の有効活用、PR
- ・ 笹戸温泉の利活用
- ・お米の販売促進
- ・後継者の確保

4 連絡事項

- (1) おいでんさんそんプラン中間報告会のお知らせ
- (2) わくわく事業の取組について

5 支所長あいさつ

6 閉会

— 午後8時30分 令和7年度 第8回 旭地域会議終了 —